

SSDファームウェアアップデートのユーティリティガイド

Crucial® M500 SSDファームウェアリビジョンMU05のファームウェアアップデートガイド：起動可能なメディア用

(リビジョンMU02またはMU03からリビジョンMU05へのアップデート)

はじめに

このドキュメントでは、Crucial M500 SSDのファームウェアを、起動可能なUSBドライブまたはCDと起動可能なISOイメージを使用してアップデートするプロセスについて説明します。

ISOイメージにはMU05ファームウェアアップデートとDOSブートコードが含まれています。

このプログラムは、ファームウェアをリビジョンMU02またはMU03からリビジョンMU05にアップデートするために使用してください。

注：このファームウェアアップデートは、個別に購入した、またはコンピュータシステムに元から搭載されているMicron SSDには適用できません。

そのようなドライブのファームウェアアップデートは、必要に応じてコンピュータのメーカーまたはwww.micron.comで提供されます。このファームウェアアップデートは、他のすべてのMicronまたはCrucialのSSDには適用できません。

警告：すべてのファームウェアアップデートと同様、このアップデートを実行する前に、すべての重要なファイルのバックアップまたはコピーの作成を行うことが強く推奨されます。

このファームウェアアップデートのプロセスは、すべてユーザーの責任で行ってください。

正しく実行した場合、システムまたはドライブのユーザーデータが損失することはありません。

ただし、ファームウェアのプロセスが何らかの理由で中断された場合、ソリッドステートドライブが適切に動作しなくなる可能性があります。

このアップデートをノートブックコンピュータで実行する場合、電力供給にAC電源アダプタを使用することが強く推奨されます。

一般的な手順

ファームウェアのアップデートプロセスを開始する前に、次の手順を実行してください。

1. ソリッドステートドライブのバックアップを行う

このファームウェアのアップグレード手順を開始する前に、システム全体のバックアップを実行することが強く推奨されます。

(パワーロスまたは何らかのハードウェア障害により) アップグレードが中断された場合、ソリッドステートドライブが適切に動作しなくなる可能性があります。

2. AC電源を使用する

アップデートプロセスの間、モバイルPCまたはデスクトップPCをAC電源に接続するようにしてください。

アップグレード中にバッテリー電源のみを使用することは推奨されません。

ファームウェアのアップデートプロセスの間はいかなる時も、電源を取り外さないでください。取り外した場合、プロセスが不完全になり、ソリッドステートドライブが使用できない状態になる可能性があります。

3. BIOS設定を編集する

以下の手順に従って、コンピュータのBIOS設定の編集が必要になる場合があります。

コンピュータのユーザーマニュアルで、これらの設定の編集に関する詳細を確認してください。

a) ドライブのパスワードを無効化/削除する

BIOSの設定画面を表示して (通常「Delete」、「F2」、または「F12」キーを起動画面の最中に押します)、SSDに設定したすべてのパスワードを無効にします。

パスワードでの保護によってファームウェアアップデートがロックされる場合があります。

b) 起動順序を確認する

システムがCDまたはUSBドライブから起動しない場合、BIOS設定の編集が必要になります。

BIOSエディタでドライブの起動順序を確認してください。

デフォルトでは、ほとんどのシステムは、システムドライブよりも先にCDドライブから起動します。

BIOSベンダーによって異なりますが、「Boot Device Priority」、「Boot Load Order」、または「Advanced BIOS Features」などのオプションを見つけてください。

システムが、OSが含まれているドライブより先に、起動可能なCDまたはUSBドライブから起動することを確認してください。

ファームウェアアップデートをダウンロードする

1. ファームウェアのダウンロードプロセスを開始する前に、インターネットブラウザ以外のすべてのプログラムを閉じます。

トラブルシューティングのヒント

- ・ このソフトウェアと各種のシステムおよびチップセットの構成との互換性テストに取り組んでいますが、使用可能なすべてのシステムのテストを行うことはできません。
したがって、一部のシステム（古いシステムなど）では互換性の問題が生じる可能性があります。
- ・ 上記の「ファームウェアアップデートを実行する」セクションの手順3でM500ドライブが認識されない場合、一部の古いシステムではAHCIモードではなくIDEモードでこのアップデートの実行が必要になることがあります。
その場合は、次の手順を実行します。
- ・ デスクトップシステムで、ドライブがSATAバスの最初の4ポートの1つに接続されていることを確認します。これらのポートには通常0~3のラベルが割り当てられています。一部のマザーボードではSATAデバイスのホットプラグがサポートされていないので、ポートを変更する前に、システムの電源をオフにすることが推奨されます。
- ・ BIOSの設定で、SATAモードを[IDE]または[Legacy]モードあるいは[Compatibility]モードに変更します。[SATA Configuration]、または場合によって[Integrated Peripherals]というパラメーターを見つけてください。
- ・ 設定を保存してBIOSを終了します。
- ・ 上記の「ファームウェアアップデートを実行する」セクションの手順1から手順を進めます。
- ・ ほとんどのシステムでは、RAIDモードの場合にファームウェアアップデートを行うことができません。
その場合、AHCIまたはIDEモードに変更することでアップデートプロセスを実行できることがあります。
アップデート後にシステムをRAIDモードに戻すと、すべてのRAID構成は保持されているはずですが、手順を進める前にシステムのユーザーマニュアルを確認してください。

補助RAIDカードは、ファームウェアアップデートの実行に必要なコマンドを渡しません。

このコマンドをサポートするマザーボード上のSATAホストバスアダプタまたはSATAコネクタに、対象ドライブを移動することが必要になる場合があります。

- ・ このファームウェアアップデートツールは、UEFIベースのBIOSが搭載されたPC、ノートブック、またはタブレットでは適切に動作しない可能性があります。

ファームウェアのリリースノート

M500（すべてのフォームファクタ）のファームウェアがバー

ジョンMU03からMU05にアップデートされました。

M500は、Micronが提供するツールを使用して、以前のバージョンからこの新しいファームウェアにアップデートできます。

Micronの工場で新たに製造される製品にはこのアップデートが必須で組み込まれますが、現在使用されているドライブについては、このアップデートの適用は任意です。

エンドユーザーが以下の項目に関する問題に直面しているか、問題の防止を希望する場合は、アップデートが推奨されます。

バージョンMU05での変更内容は、次のとおりです。

- ・ SMARTポーリングによるアプリケーションでのドライブ遅延パフォーマンスの改善
- ・ サードパーティ製暗号化管理ソフトウェアとの互換性の改善
- ・ SMARTの属性196および183のレポートの訂正
- ・ 容量が960GBのドライブにおける過熱制限反応の強化による信頼性の向上
- ・ 一部のお客様がMU03で経験したアップグレードの問題の修正
- ・ 多数のバグ修正と安定性の向上

改訂履歴

Rev. A.....
2014年3月25日

- ・ 初回リリース